



石川塾

ふるさと石川を誇れるものに。

「入・米・夢づくり」をテーマに、「第七回京都地酒サミット」(10月15日)で開催され、府内の地酒づくりの団体や酒造りの産地、酒米をつくる農家らが約六十人が集まった。

このサミットを主催したのは、石川地区に住む、地酒づくりや地域おこしへの熱い思いを持つ有志で結成された「石川塾」(いしかわじゅく)だ。「石川が大好き。だから、ここに住んで本当によかった。そう思えるふるさとをつくりたい。そして、ふるさとの歴史を語り、自然と文化を語り、素晴らしい米米を食べていきたい」

この熱い思いが結集し、平成七年に「石川塾」は発足。以来、石川を少しでもよくしたいと語り合い、学び合いつづけて、地元の里山、城山の清掃や「ひまわり十五万本」イベントへの参加など、さまざまな地域づ

くり活動に取り組んでいる。

中でも、最も力を注いでいるのが酒造りだ。塾員の中には酒米づくりをしている農家がある。昔は石川地区にも酒造り酒蔵が数軒あったということから、「地元の米と水で地酒をつくらう」と、平成八年、地元を誇れる酒の復活に取り組んだ。

石川で収穫した米を宮津市の酒造会社に持ち込み醸造を依頼。出来上がった酒は、塾員の中から生まれ、酒にふさわしく、公募により「京石川 かり酒」と名付けられ、石川塾の志に賛同した数々の加藤孝紀子さんがラベルに署名した。

「それまでは普通酒しか飲んだことがなかったの。これが本当の日本酒かと思う。生酒特有の味わいで、『美味い』の一言だった」と四代目醸造の加藤さんは酒造りを振り返る。

六百八十本の生産分は、予想以上の大反響であつという間に売り切れ

だ。この取り組みで出た利益は、石川小学校に図書室、また若人ホームに草イースを寄贈することで地域へと還元された。その後、「かり酒」の醸出は毎年十二月末に行われ、石川塾の恒例行事となっている。

こういった取り組みを地域の活動にとあらず、大きな交流の場としたのが「石川塾」のすこいところ。

平成十三年には、酒造りやまちづくりに取り組む府内外の団体を集め、地酒を持ち寄りまちづくりを語り合う「第一回目の『地酒サミット』」を企画。野田川エースセンターに七団体約五十人を集めて交流を深めた。

参加者が「こんなタメになる勉強会はない」と話し、以降、会場となる地域の団体が主催するふたたびの会を重ね、酒造りや地域活性化の取り組みについて意見交換を行っている。「地酒サミットで酒を造って、たくさんの方が交流し、たくさんの方が

地酒サミットに集まった石川塾の皆さん。中央で「かり酒」を持つのが醸造部長。現在は21人で活動中



できていくことは石川塾の誇り」と加藤さん。

「まちは疲弊し、経済情勢も良くないが、人々がつながって、いろんなことを試みれば新しいものが生まれるはず。町内でも、こういったつながりの場をつくってほしい」と、これからも地域を元気にする取り組みを仕掛けていくつもりだ。

交通バリエーションに適合した車両の特徴は、何といっても、小さいお子さんからお年寄りの方まで誰もが簡単に乗り降りできるノンステップバスということです（写真①）。また、車イスの方にも安心に乗り賃してもらえます、取り外し式のスロープを準備しています（写真②）。乗車の際は気圧に運転手に声をかけてください。車内には、車イスの方が利用できるスペースを準備しているほか、高齢者や妊婦の方の専用席も準備しています。（写真③）。

目印はひまわりを
イメーじした黄
色とオレンジ色
の鮮やかな看板
です。バス停を
お間違えのないよ
うにお願いします。

運行ダイヤやバス停の位置は、運行ルートとなる地区の区長をはじめとする住民の皆さんの意見をもとに決められました。「丹海バス」が運行する朝の与謝の海浜駅行きを接続し、というほか、買い物にも便利なダイヤとなっています。運賃は「大人200円」「小学生100円」。身体障害者等の認定を受けた方は半額です。「奥浜線」は「月・水・金」「石川・桑崎線」は「奥海線、12月30日から1月3日は運行しません。布しています」「与謝野町バス・終端時刻表」(写真)



バスを見た人に
ほっこりして、正気な
気持ちになってほしい。
バス車内のラジオで、さ
ういふことを聞かせる
（河内）には、たいてい「ま
ちの将来像（水・緑・空
）が、よく、ふれあひのま
ち」を、イメージする。美
しい自然が、いつか、
いつか、二田園で、さ
ういふことを、さし
上げる。さういふ、
バスを、さういふ、
田舎に、さういふ、
子で、さういふ、
いて、さういふ、
い、さういふ、
まわり、には、さういふ、

てもらいたいと応募する気持ちとを
込め、「町」は今日やまといにい
にやがあるだろうという希望を表
現しています。このバスを利用し
てもしなくとも、バスを貸した人々
ほこりと、まだ元気な気持ちに
なってくればうれしいうですね」

五洲大藥房

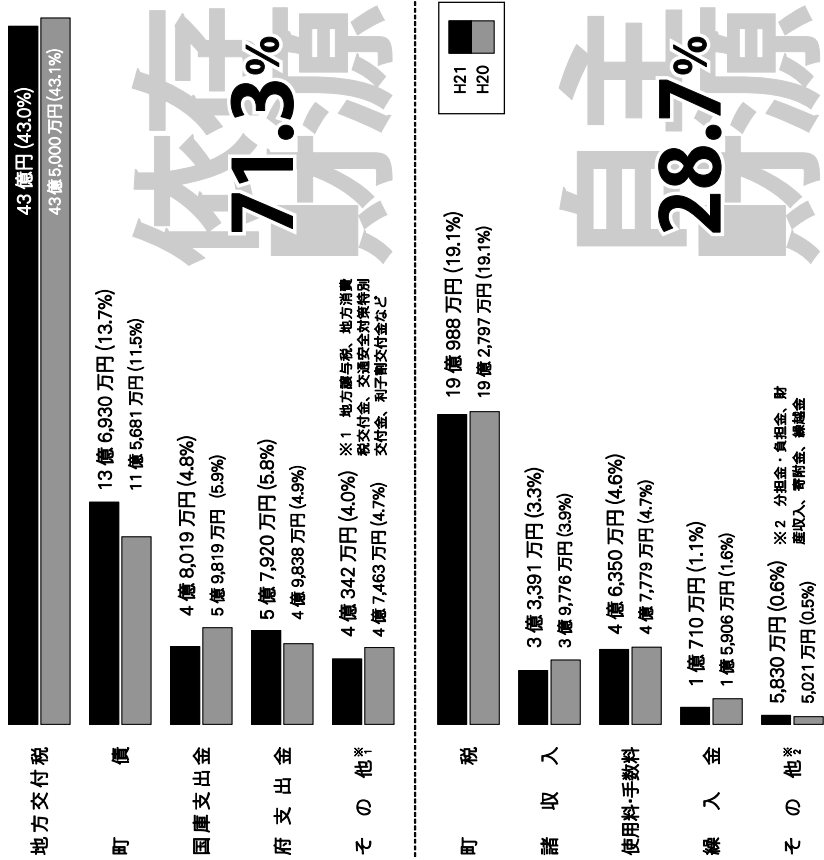
庁舎バス停付近で
テープカットが行
われました

平成18年の市政懇談会での「日常生活の移動手段の確保を」との声を実現したこの事業は、住民が望むものを住民の手によって作り育てていくということによって、交通不便地域住民が中心となって、ルートやバス停の位置などが決められました。式では、与野野田地域公共交通会議副会長で加悦奥区長の北國雅雄さんが「まさに町民による町民のためのバス。このバスで外出することによって元気が活力あるまちとなることを願う」と祝辞を述べました。

町民による町民のためのバス「コミュニティバス ひまわり」が3月16日、
実証運行を開始しました。午前7時9分、朝日とともに「^{くま}超ノ熊」バス停を
出発した第1便。このバスは私たちみんなのバスです。朝日のように希望に
満ちたバスとなるよう、皆さんのご利用をお待ちしています！

「加悦奥・奥滝線」の「鹿ノ熊」バス停で記念すべき第1便の発売を待つ「コミュニティバス ひまわり」

一般会計 歳入



一般会計の歳入は、町税や使用料など町税野町自らで調達できる財源「自主財源」が全体の28.7%しかなく、地方交付税や町債・国や府の補助金などの「依存財源」が全体の71.3%を占めている状況で、自主性が低く、国等の政策動向により町税野町の財政運営も大きく左右され、不安定な財政状況となっています。

内訳をみると、地方交付税が全体の43.0%と一番大きく、次いで自主財源の要である町税・町債の順になっています。町債は、前年度より二億二千四百四十九万円増加していますが、これは国の財源不足により地方交付税から振り替えられた臨時財政対策債が二億二千八十九万円増加したこと、また以前に借り入れた利率の高い町債を低い利率に借り換える町債が二億七千五百円あることなどによるもので、通常の事業を行うための町債は減額となっています。

町債の二十一年度末現在償還済み額は、百四十五億九千四百八十四万円で、二十一年度末現在償還済み額より七千七百八万円減額となる見込みです。

また、景気の低迷などにより財源の確保が非常に難しく、これを補うため財政調整基金から八千万円の取り崩しを行わざるを得ませんでした。

予算

住民の皆さんと共に「持続可能なまちづくりを進めていきます」
一般会計 100 億 480 万円・予算総額 190 億 3,198 万円

3月定例会で平成21年度当初予算が原案どおり可決されました。平成21年度も引き続き非常に厳しい財政状況となっていますが、「総合計画」に掲げる事業の推進と、「行政改革大綱」の目標達成に向けての取り組みを最大のテーマに位置づけ、「持続可能なまちづくりを進めていきます。住民の皆さんの「行政への参画」と「協働」がまちづくりには不可欠です。共に手を取り合い「持続可能なまちづくりを進めていきましょう。

会計別予算額

会 計 別		21 年度総額	20 年度総額	前年対比
一 般 会 計	計	100 億 480 万円	100 億 9,080 万円	△ 0.9%
特 別 会 計				
簡 易 水 道 特 別 会 計		10 億 767 万円	9 億 8,198 万円	2.6%
宅 地 造 成 事 業 特 別 会 計		25 万円	1 億 3,312 万円	△ 99.8%
下 水 道 特 別 会 計		23 億 2,210 万円	18 億 7,060 万円	24.1%
農 業 集 落 排 水 特 別 会 計		1 億 5,551 万円	1 億 1,746 万円	32.4%
介 護 保 険 特 別 会 計	事 業 勘 定	21 億 3,458 万円	19 億 6,034 万円	8.9%
	サ ー ビ ス 事 業 勘 定	1,225 万円	1,199 万円	2.2%
土 地 取 得 特 別 会 計		109 万円	171 万円	△ 36.3%
石 田 土 地 区 画 整 理 事 業 特 別 会 計		廃 止	3 万円	皆 減
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	事 業 勘 定	29 億 6,281 万円	28 億 8,475 万円	2.7%
	直 診 勘 定	9,106 万円	7,996 万円	13.9%
老 人 保 健 特 別 会 計		2,802 万円	3 億 9,663 万円	△ 92.9%
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計		2 億 3,089 万円	2 億 3,272 万円	△ 0.8%
財 産 区 特 別 会 計		8,095 万円	893 万円	806.9%
合 計		190 億 3,198 万円	187 億 7,102 万円	1.4%
水 道 事 業 会 計 (公 営 企 業 会 計)				
収 益 的 収 入		1 億 4,206 万円	1 億 5,129 万円	△ 6.1%
収 益 的 支 出		1 億 6,646 万円	1 億 7,643 万円	△ 5.7%
資 本 的 収 入		5,118 万円	1,069 万円	378.9%
資 本 的 支 出		1 億 6,908 万円	1 億 374 万円	63.0%

※細款整理のため表内計が一致しない場合があります。

主要事業紹介

「与野町総合計画」のまちづくりの6つの基本目標を柱に、平成21年度の主要事業を紹介します。

安心と生きがいのある
福祉のまちづくり



- 妊婦健康診査費助成事業【充実】1,779万円
母子ともに健康な出産を迎えるため、妊婦健診を14回(20年度は5回)まで無料で受診できるように支援。
- 保育所整備事業【新規】1,260万円
加悦保育園園内環境補強工事、市場・山田保育園整備工事を実施。
- じん臓機能障害透析交通費補助事業【新規】100万円
人工透析で通院する交通費について、府の制度を受けられない方を対象に月額5,000円を上限に補助金を交付。
- 地域福祉社空間整備事業【継続】1,500万円
NPO等の民間機関での福祉施設の拠点整備に対し助成。

伝統を活かし未来に
チャレンジする産業づくり



- 緊急雇用創出事業【新規】3,329万円
公園等環境整備事業や中学校スクールカウンセラーの配置などの直接雇用と民間企業等に委託し雇用創出を推進。
- 自然環境農業推進事業【継続】1,380万円
「京の豆こ」肥料を活用した地産地消の自然環境農業の知名度を高め、トップブランドとして販路促進を図るなど、特色ある農業を推進。
- 農業用施設整備事業【一部新規】6,769万円
農道舗装・排水路改修事業、農林振興事業費補助金、ソノバ川改修事業などを実施。
- 商工業振興対策事業【一部充実】4,595万円
地域産業の活性化を図るため、商工会や新規創業、人材育成、新商品開発を支援。また商工会が「定額給付金」に併せ発行する「プレミアム付き商品券」に対し補助金を交付。

自然と安全を守る
まちの盤づくり



- 河川改修事業【新規】3,000万円
安心・安全対策を目指し、常習浸水を解消するための河川・水路の改修などを実施。
- 消防防災施設等整備事業【新規】2,804万円
計画的に消火栓を整備。消防ポンプ自動車を更新。
- 災害に強いまちづくり事業【継続】1,202万円
災害に強いまちづくりを推進するため、四辻・上合地区の堤防の整備などを実施。
- デジタル防災行政無線整備事業【新規】263万円
防災行政無線のデジタル化に対する整備のため、詳細設計業務を実施。

快適でやさしさのある
生活環境づくり



- 有線テレビ拡張事業【新規】7,101万円
有線テレビ拡張に伴い、加悦地域でFM音声告知端末機を配置。野田川・岩津地域で新規加入促進に補助金を交付。
- 町営バス運行事業【新規】1,050万円
町内の交通不便地域の解消を図るため、「コミュニティバスひまわり」を運行。
- 道路施設改良事業【継続】1億4,410万円
明石宮河線道路改良事業、岩屋川線道路改良事業、石川上山田線等の町道を整備。
- 都市公園整備事業【継続】5,810万円
住民の皆さんの憩いの場として、阿蘇シーサイドパーク整備事業を引き続き実施。
- 天橋立世界遺産登録事業【継続】112万円
天橋立の世界遺産登録に向け、「天橋立を世界遺産にする会」が行う共同事業(シンポジウム)等を支援。

明日の人材を育てる
教育文化のまちづくり



- 小学校耐震補強事業【新規】1億8,950万円
耐震診断結果に基づき各小学校校舎耐震補強工事を実施。
- 地区公民館・公民館整備事業【新規】6,560万円
地域コミュニティの拠点となる地区公民館の整備として、四辻地区公民館の増築他改修工事を実施。また利用者の利便性の向上を図るため、加悦地域公民館図書室を2階から1階へ移転する工事を実施。
- 与野野島子短歌文学賞共催事業【新規】100万円
平成23年度に京都府内で開催される「国民文化祭」の事前事業として、新聞社との共催による「与野野島子短歌文学賞」を開催。
- 人づくり・国際交流事業【新規】131万円
与野野町を担う人材の育成と国際交流の推進を目的に、ふるさと人づくり研修事業、アベリスツイス交流事業を実施。

協働で進める
まちづくり



- 住民自治活動支援事業【継続】1,702万円
自治会活動関係補助金、自治振興委託料など地域自治会活動を支援。
- コミュニティ事業助成【継続】650万円
地域コミュニティの活性化を図るため、自治振興補助金を引き続き実施。

一般会計 歳出

目的別歳出内訳からは、行政サービスの水準や行政上の特色などを知ることができます。性質別歳出内訳からは、支出が義務付けられている「義務的経費」など、どのような性質の経費が使われるのかがわかります。

